

別記様式（第5条関係）

会 議 録

会議の名称		第1回福津市教育支援委員会
開催日時		令和6年 7月 10日（水） 午後3時00分から 午後4時30分まで
開催場所		福津市役所 別館1階大ホール CDE
委員名		（1）出席委員 阪木啓二、岩崎圭子、瀬口裕幸 山根弘敬、鴨下賢一、福澤絵美 児島由美、安河内友美、西田剛信 高木陽一郎、近藤浩美、原尻敏広 白土真二郎、國廣信弥、川口佐恵子 砂田友紀、小野美優 （2）欠席委員 松永伸二、的場隆幸、清水光朗 恵治美、盛永優子
所管課職員職氏名		学務係長 林田研史 非常勤指導主事 薄俊哉、原田博幸、新海すが 教育指導係 天野美和
会 議	議 題 （内 容）	1. 教育委員会あいさつ 2. 委嘱状の交付 3. 委員自己紹介 4. 「福津市教育支援委員会規則」概要説明 5. 会長及び副会長選出 6. 議事 （1）令和5年度事業実績報告 （2）令和6年度事業計画（案） （3）令和6年度方針（案）
	公開・非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部公開
	非公開の理由	
	傍聴者の数	0名
	資料の名称	・ 会議次第 ・ 委員会名簿 ・ 福津市教育支援委員会規則 ・ 令和5年度事業実績 ・ 令和6年度事業計画（案） ・ 令和6年度の方針（案）
会議録の作成方針		<input type="checkbox"/> 録音テープを使用した全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 録音テープを使用した要点記録 <input type="checkbox"/> 要点記録 記録内容の確認方法
その他の必要事項		

審議内容（発言者、発言内容、審議経過、結論等）

1. 教育委員会あいさつ

林田学務係長が挨拶を行った。

2. 委嘱状の交付

3. 委員自己紹介

4. 「福津市教育支援委員会規則」概要説明

5. 会長及び副会長選出

会長：阪木委員、副会長：岩崎委員

6. 議事

(1) 令和5年度事業実績報告

(2) 令和6年度事業計画（案）

(3) 令和6年度の方針（案）

【白土委員】

質問1：面談省略については本人・保護者・学校の合意形成とあるが学校は現在の在籍校か、進学先の学校なのか、学校の捉え方はどうなるか。

質問2：通級指導教室の在籍期間が2年間となっているが、小学校から中学校にあがる際などにはリセットされるのか。

【天野】

質問1：面談省略の学校意向は現在の在籍校とする。

質問2：通級指導教室の在籍期間は小学校から中学校でリセットはされない。

【薄指導主事】

質問2：通級指導教室の在籍期間は最大2年だが1年ごとに適正か確認し、次年度の就学について合意形成を図る必要がある。

【安河内委員】

質問3：通級指導教室の在籍が3年目になる際は再度、就学相談の必要があるか。

【天野】

質問3：通級指導教室の在籍が3年目になる際は就学相談の必要はない。合意形成で継続していく事が可能である。通常学級への転籍は合意形成、特別支援学級への転籍は就学相談を受ける必要がある。

【児島委員】

質問4：通級指導教室の合意形成はどのように図るのか。

【薄指導主事】

質問4：通有指導教室の合意形成は本人・保護者・現在の在籍校・通級指導教室の担当者の合意形成を図り、その中に市教委も同席する。

【児島委員】

意見1：通級指導教室の合意形成の図り方を文書化してほしい。

【児島委員】

質問5：通級指導教室の在籍期間は令和6年度の判定から有効期限2年となっているが現在、在籍している子はどうなるのか。

【薄指導主事】

質問5：通級指導教室の現在在籍者については令和6年度から2年とする。

【白土委員】

質問6：判定結果が特別支援学級であるが、承諾を得られない場合、通級指導教室には判断結果が知的のみの場合、在籍できない。情緒と重複するが知的判定のみになる場合があるのではないか。

【福澤委員】

質問6：通級指導教室は知的発達に対して行うものではない。

【鴨下委員】

質問7：発達検査の種類はどのようになっているか。

【天野】

質問7：小中学生に関してはWISC、未就学児にはWPPSI、未就学児の支援を多く要することが想定される子に対して田中ビネーを使用している。

【福澤委員】

意見2：発達検査時に検査キットを各種用意するなどの対応はいかがか。

【天野】

意見2：発達検査者によってできる検査が違うため、1つの検査で対応している。

【鴨下委員】

質問8：発達検査者は基本的に固定なのか。検査者は何がとれるのか。

【天野】

質問8：発達検査者は臨床心理士会から3名推薦いただいております、3名を基本としている。検査者が対応可能な検査についてはWISCVと田中ビネーWISCIVと田中ビネー、WISCVとWPPSIⅢがとれる。

【岩崎委員】

意見3：1つの学級から就学相談者が何名も就学相談者が出るということは、子どもだけでなく学校の環境によるものもあるのではないか。

【薄委員】

就学相談の申込書類は聞き取りはなくなったが、担任の様子を記入する様式には担任だけでなく校内委員会で協議し、所属長の押印を求めている。福津市では保幼小接続において保育園や幼稚園にも周知している。

【福澤委員】

意見4：昨年度の面談で緊張して自身の意向と違う意向を言ってしまった事例、支援が必要な保護者については面談の内容がわからなかった事例、面談時に子の前で言ってほしくないことを言われた事例があったので、配慮が必要。

【瀬口委員】

質問9：就学相談を受ける者に対してはすでに対象を見学済と考えてよいか。

【天野】

質問9：就学相談前に見学を勧めているが保護者が通常学級のみを希望などで、見学していない場合もある。

【薄指導主事】

面談当日に事前に指導主事の見立ての元ミーティングをしている。不登校の就学相談などが増えているので言葉には配慮が必要。

【白土委員】

意見5：申請様式に薬の服用や、小学校の通級指導教室の送迎が可能か記載してはどうか。

【阪木委員】

意見6：小学校の通級指導教室のあり方には状況に応じて巡回型などを考えていく必要があるかもしれない。

【白土委員】

意見7：特別支援学校の学校見学などの様子を知りたい。

【薄指導主事】

意見 7：令和 5 年度まで見学会を実施していた。要望があれば実施する。

【児島委員】

意見 8：学校見学等で教材なども含め環境を見てほしい。

【福澤委員】

質問 10：小学校の通級指導教室の見学はどこに連絡すればよいか。

【新海指導主事】

質問 10：教育委員会に連絡いただいても、通級指導教室を設置している神興小学校でもよい。

【坂井委員】

質問 11：在籍校の校長については、面談者とならない方針だが次年度の在籍校の校長は面談をしたいか。

【白土委員】

質問 11：次年度入学者の面談により、子を知ることができたのでよかった。

【安河内委員】

質問 11：面談に入らず、別で判定してほしい。

6. その他

【福澤委員】

質問 12：支援級の在籍について確認したい。保護者の中には支援級と通常級に 2 分の 1 ずついなければならないと捉えており、不登校傾向になる子がいる。支援級に多く在籍して構わないと伝えてよいか。

【原田委員】

質問 12：文部科学省が在籍を 2 分の 1 といっているのは、最低でも 2 分の 1 在籍とするもので必ずしも同じ割合ではない。通常級に転籍が望ましいかなど在籍が正しいものかを確認するためである。

【鴨下委員】

意見 9：市民向けの就学相談説明会をしてほしい。

【瀬口委員】

令和 8 年度より宗像特別支援学校が開校予定。古賀特別支援学校に在籍する福津市民の小学部は全員、中学部は現在の 1 年生が転学となる。

次回開催日 令和 6 年 7 月 1 8 日（木）予定